

第13回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成25年6月19日 18時30分開始

2. 開催場所 FMぎんが2階会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

委員出席 4名

出席委員の氏名 中間隆志委員 加藤俊文委員 下吉秀知委員 吉見満雄委員

放送事業者側出席者 中崎宗治代表取締役社長 中崎啓文局長 濱田英作

4. 議題 ①これまでに頂いた意見、答申に対しとった措置などの報告
②番組編成会議内容についての意見交換

5. 議事の概要

これまでに頂いた意見、答申などに対してとった措置を報告するとともに、番組編成会議で協議された内容などに対する意見を頂いた。

6. 審議内容

中崎局長 これまでに頂いた意見、答申に対してとった措置などについて報告した。

- ・鹿児島地方気象台が開催する防災気象連絡会に出席。
- ・地元商店街青年部事業「D2プロジェクト」への協力と番組連携の協議。
- ・1階スペースを活用した、番組コーナーの実践講座の開催。
- ・地域の団体である成人学級への参加
- ・商店街青年部交流会への出席（西田、宇宿、西伊敷）
- ・鹿児島市開催の防災シンポジウムへの参加。
- ・鹿児島県域放送局MBC主催の防災連絡会への参加

中崎社長 MBC防災連絡会の補足。

- ・防災連絡会の中では、奄美豪雨災害時に奄美市のコミュニティ放送局のあまみエフエムが、どのような災害放送体制をとったかの事例紹介と講演が行われ、非常に参考になる内容であった。
- ・県内のいくつかのコミュニティ放送他局の方々と、情報交換や情報連携の可能性について話す場を持てた。

吉見委員 この防災連絡会での内容から、FMぎんがの災害放送を行う際に様々な想定が出来る。今回の防災連絡会で得た内容を、今後大いに活用してほしい。また、マニュアル化できるものはマニュアル化しスタッフへ周知するべきとの意見。

濱田英作 マニュアル化し周知をしないことで、いざという時に処理が遅くなるということが想定される。周知は徹底しますと返答。

中崎局長 自局防災訓練も行う必要があると考えている。

加藤委員 是非とも実施するべきとの意見。

下吉委員 同じく是非とも実施するべきとの意見。ハード機器の中に潜む問題もある事例があり、訓練でそういった未然に防げるはずの問題を取り除く意味でも是非訓練を行うべき。

中崎局長 番組編成会議を開催した内容の報告した。

- ・番組とリスナーをよりつなげるツールとしてのサポーターズクラブの計画
- ・告知ポスターの内容
- ・FMぎんが公式グッズ
- ・1階スペースの様々な活用法
- ・地域情報の収集方法について

加藤委員 1階の活用法で土曜市のようなものを行うという事だが、以前この近隣で土曜市を行った際は一定の盛り上がりを見せた。良いアイデアかもしれないとの意見。

7. その他連絡事項

次回番組審議会を平成25年7月17日 18:30よりFMぎんが2階会議室にて開催する事を確認した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送：平成25年8月21日午前9時からの音楽番組の前半に特番で放送
- ② 書面の備置き：平成25年8月21日から、当該事項を記載した書面(議事録)を事務所へ備置き
- ③ インターネット：平成25年8月21日より当社インターネットのホームページに転載

以上

議事録作成 濱田 英作